

学習だより

第３号
令和８年４月２８日発行

宇都宮市立陽北中学校
学習指導部

「学習だより」は、本校のホームページからご覧になれます。
携帯電話・スマートフォンから、ＱＲコードを読み取ってご覧ください。

やる気が動き出した４月の終わりに

４月も後半に入り、新しい学年の生活にも少しずつ慣れてきた頃だと思います。
学校全体を見ていると、今年の皆さんは例年以上にやる気に満ちていて、活気のある雰囲気が広がっています。授業中の姿勢、課題への向き合い方、休み時間の表情――どれを見ても、「今年は伸びる学年になる」と強く感じています。

特に印象的なのは、課題に一生懸命取り組む姿です。
プリントを丁寧に進める人、ノートに自分なりのメモを書き足す人、わからないところを友達と確認し合う人。提出物の中には、ただ書くだけでなく、色分けや図を使って理解を深めようとしている工夫も見られます。こうした“学びに向かう姿勢”が学校全体に広がっていることは、本当に素晴らしいことです。



４月は新しい環境に慣れるだけで精一杯になりがちですが、皆さんはその中でもしっかりと学習に向き合おうとしています。この良い流れを、ぜひ５月以降の学びにつなげていきましょう。

今こそ身につけたい「学びの３つの習慣」

４月下旬は、１年間の学習リズムが決まる大切な時期です。
ここで紹介する３つの習慣は、どの学年でも、どの教科でも、必ず力になります。
すでにできている人はそのまま継続を、まだ意識できていない人は今日から少しずつ始めてみてください。

① その日のうちに少し振り返る

授業が終わってから２４時間以内に内容を見返すと、記憶の定着が大きく変わります。「復習」と聞くと難しく感じるかもしれませんが、５分で十分です。

★今日の授業で大事だったこと
★自分が「なるほど」と思ったところ
★逆に「よくわからなかった」と感じたところ

これらをノートに軽く書き足すだけで、理解が深まり、次の授業がぐっと楽になります。
“その日のうちに少し振り返る”という習慣は、学力を伸ばすうえで最も効果的な行動のひとつです。

② 間違えた問題を解き直す

テストでも日々の課題でも、間違えた問題こそ宝物です。
「なぜ間違えたのか」を考え、もう一度解き直すことで、同じミスを防ぐことができます。

★計算の途中でミスをした
★問題文の読み取りが不十分だった
★単語や漢字の覚え方があいまいだった

原因は人それぞれですが、解き直しをすることで“弱点”が“得意”に変わる瞬間があります。最近は、解き直しノートを作る人も増えてきました。自分の成長が目に見えるので、とても良い取り組みです。

③ ノートを見返して整理する

ノートは“書いて終わり”ではなく、“見返して育てる”ものです。
授業中に書いた内容を、家で少し整理するだけで理解が深まります。

★色ペンで要点をまとめる
★図や矢印でつながりを整理する
★自分の言葉で短くまとめる

こうした工夫を続けると、テスト前にノートを開いたときの分かりやすさがまったく違います。
「自分だけの参考書」をつくるつもりで、ノートを育ててみてください。

GW 前に伝えたいこと

もうすぐゴールデンウィークが始まります。
楽しい予定がある人も多いと思いますが、休みの間に生活リズムが崩れると、５月の学習が苦しくなります。

・早寝・早起きを意識する
・１日１０～２０分の軽い復習をする
・読書や運動で頭と体をリフレッシュする



この３つを意識するだけで、休み明けのスタートが大きく変わります。
特に、４月に学んだ内容を少しだけ振り返っておくと、５月の授業がとてもスムーズになります。

５月の学びに向けて

５月は、どの学年も“本格的に学力を伸ばす時期”に入ります。
授業の内容も深まり、行事との両立も必要になります。
４月に育ち始めた皆さんのやる気を、そのまま学びの力につなげていきましょう。



皆さん一人ひとりの努力が、学校全体の雰囲気をつくっています。
これからも、前向きな姿勢で学びに向かう皆さんを応援しています。